



ひらどだい

令和元年度学校だより 2月号横浜市立平戸台小学校校長 柴崎 美佐



4年に1度

副校長 小林 崇

今年うるう年です。平年は1年間で365日ですが、うるう年には366日となり、1日多いこととなります。1日多い2月29日をうるう日と呼びますが、うるう日があることでなんだか得をしたような気持ちになったり、損をしたような気持ちになったりするの面白いなと感じます。うるう日がなぜあるのかを調べてみると、次のことがわかりました。太陽が地球を一周するに365日かかるので、1年は365日とされていますが、正確には、365日と6時間となります。この端数を省いてしまうと、4年で1日のずれが生じます。このずれを4年に1度のうるう日で調整しているとのこと。4年に1度の特別感を感じる2月です。

今年4年に1度という特別感を感じることもう一つあります。7月から9月にかけて開催される東京オリンピック・パラリンピックです。私も「この大イベントを体感したい！」と勇んでオリンピックのチケットを申し込みましたが敢え無く落選。現在はパラリンピックのチケットの結果待ちの状況です。世界中が注目するこの大会をライブで観戦できると思いき、ドキドキしています。

さてそんな私がパラリンピックの中で関心を寄せている競技は「ゴールボール」です。その名前からはどんな競技なのか想像が付きにくいかもしれませんし、そもそもあまり聞き慣れない名前かもしれません。水泳や陸上競技などとは異なり、パラリンピックのみの競技なので、マイナースポーツの一つとも言えるでしょう。しかし、ゴールボールは2004年アテネ大会で銅メダル、2012年ロンドン大会では金メダルを獲得、今大会でもメダル獲得を期待される熱い競技なのです。この競技は、視覚障がい選手がかすかな音や振動を頼りにプレーするため、観客は声を出すことは許されません。そして1.25kgと重みがあるボールでシュートをするとき速は50kmにも達し、わずか0.5秒ほどで守備側に到達します。あまりの激しさに試合中にボールが壊れたり、選手がケガをしてしまうこともあることから「静寂の格闘技」と呼ばれる競技なのです。（ルールの詳細はぜひ調べてみてください。）



令和2年度から実施される新学習指導要領には、オリンピック・パラリンピックに関する教育について、「…ルールやマナーを遵守することの大切さをはじめ、スポーツの意義や価値等に触れることができるよう…」と示されています。本校でも横浜市主催の市立学校カウントダウンリレーに参加したり、ボッチャ体験を全校で行ったり（学校だより12月号参照）と子どもたちがオリンピック・パラリンピックに触れる機会を設けてきました。児童のみなさんには、この4年に1度のイベントで世界トップクラスのプレーを観戦したり、競技や選手のことに興味をもち、調べてみたりとさまざまな楽しみ方をして、学んでほしいと思います。

【校長の目標「芭蕉の句碑を巡りながら、日光街道を歩きます」…もうすぐスタートします。1/29 現在】